

## book

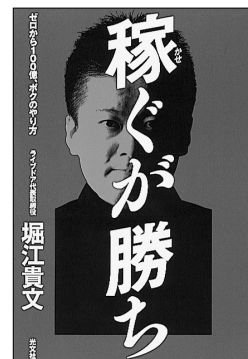
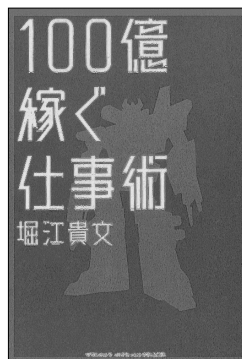
最近、おもしろかった本

## 『100億稼ぐ仕事術』

堀江貴文 著 ソフトバンクパブリッシング 1575円(税込)

## 『稼ぐが勝ち』

堀江貴文 著 光文社 1260円(税込)



## 初の同世代の人物の成功伝

紹介する2冊は、プロ野球の再編問題で、新球団設立により参入に名乗りを上げ、現在、話題となっている、株式会社ライブドア代表取締役社長の堀江貴文氏が、その仕事術、成功の秘訣等について書いた本である。

この種のビジネス本や企業家の成功伝は数多くあるが、著者が大して成功しているとは思えなかったり、あまりにも時代や企業の規模等が自分の生活環境とはかけ離れていたりして、元来、あまり興味がなかった。

しかし、本書の著者である堀江氏は、年齢が32歳で私より1つ下であり（しかも、著者の出身地は私の修習地であった福岡である）、学生時代のアルバイトの経験から起業を決意し、当初は、7畳、家賃月7万円の事務所から会社をスタートさせ、それが、現在では、年商250億円もの大きな成功を収めているベンチャー企業の経営者に上り詰めた人物である。未曾有の司法試験合格者年3000人時代に独立開業しなければならない私にとっては、同世代である著者が実践してきた成功の秘訣の一端を知ることが非常に興味深く、思わず引き込まれた。

その内容は、著者の経験によって培われてきた考え方で貫

かれており、「1つの『信頼』が次の仕事生む。…100%完ぺきな仕事において、納期に間に合わせることは絶対条件である」「やる事がなくなる『快感』を味わう」「シンプル・イズ・ザ・ベスト」「営業がすべて」「技術を売りに」等といった著者が実践してきた仕事術や成功の秘訣が、平易な文章で圧倒的な説得力を持って書かれている（反面、経済観に関する記述等稚拙で違和感のある箇所もある）。

そして、読後は、資本主義社会において「富の約束は、仕事に対して才能と精力と並はずれた力量とを有する人に与えられる」との経済学者J.A.シュンペーターの言葉を思い出し、著者がその実践者であることを実感した。

もちろん、弁護士は法律家であって企業家ではないのだから、全てを真似することはできない（真似してはならない）が、この2冊は上記のような弁護士にも参考になる仕事のヒントがたくさん書かれている。その意味で本会会員の諸先生方にも、是非一読をお勧めしたい（なお、近時、新たに「儲かる会社のつくり方」という本も出ており、3部作になっている）。

（会員 上野 真裕）

# cinema

心に残る映画

## 『夜の人々』

1949年／アメリカ／ニコラス・レイ監督作品

### 哀切極まりない道行き、暗い生の有り様暗示

「理由なき反抗」や「大砂塵」で有名なニコラス・レイ監督の処女作で、アメリカン・ニューシネマの傑作「俺たちに明日はない」の原型になったと言われる作品。

あらすじは、不況の30年代アメリカ南部を舞台に、仲間と共に刑務所を脱獄したボウイが、貧窮の民衆の支持を得つつ銀行襲撃を繰り返し、ついには悲劇的な最期を迎えるという、言ってしまうとたわいないものであるが、物語の基軸をなしているのは、ボウイと脱獄仲間の姪キーチとの情緒的な恋愛関係であり、それ故、軽快で露悪的な「俺たちに明日はない」とは、大きく趣を異にしている。

また、意図的に全シーンが夜間の場面から構成されており、これが、本作の夢幻的なイメージを決定付けている。

ボウイ役は、ヒッチコック作品での神経症的な役柄がよく知られたファーリー・グレンジャー。ここでは、いいたい純情な青年を好演している。

相手役キーチには、ウィリアム・ワイラー作品によく出演したキャシー・オドネル。地味なカントリーガールが、ボウ

イとの関係を育てていくにつれ、表情豊かに生気を帯びて美しくなっていく様子は、本作の見所の1つである。

強盗を重ねながらの逃避行という最悪の状況を、ボウイとキーチの哀切極まりない道行きとして見せるニコラス・レイの演出も冴えており、2人の慎ましい愛情表現や何とか所帯を成り立たせようとしての苦闘ぶりが丁寧に描かれた細部こそ、私が偏愛するものである。

「俺たちに明日はない」では、最後にボニーとクライドが共に銃弾を浴びて果てるが、本作では、キーチが生き残り、ボウイに対する至上の言葉をつぶやいて映画が終わる。

なお、原題は「They Live by Night」。「陽の当たらない場所」で育ち、社会の底辺であがく人々のどこか暗い生の有り様を暗示した素晴らしい題名である。「夜の人々」という邦題もうまいと思う。

ロバート・アルトマン監督によるリメイク作品「ボウイ & キーチ」もあるそうだが、残念ながら未見である。

(会員 小林 真)